

**福島県産業廃棄物処理業者等情報管理システム開発業務
企画提案書評価基準**

1 評価及び採択の方法

最優秀者の決定に当たっては、県にとって最適な事業者を選定するため、提案内容の評価に提案見積価格の評価を加算し、予定価格などの制限の範囲内における提案があったことを前提に、総得点の最も高い提案を採択する。

(1) 提案内容の評価

別添「提案評価表」に基づき提案内容の評価し、提案内容に対する点数（以下「機能評価点」という。）を与える。

(2) 提案見積価格の評価

別添「提案評価表」に基づき提案見積価格の評価し、提案見積価格に対する点数を与えるほか、後に示す計算式に基づき、提案見積価格に対する点数（以下「価格評価点」という。）を与える。

(3) 委託候補者の決定方法

(1) 及び (2) で評価した「機能評価点」及び「価格評価点」の合計点数（以下「総合点」という。）が最も高い者を委託候補者（随意契約の予定者）とする。

なお、機能評価点は400点満点、価格評価点は100点満点とし、総合点はその合計500点満点である。

(4) 総合点の最も高い提案者が2者以上あるときの対応

ア 提案者それぞれの「機能評価点」、「価格評価点」が異なる場合は、「機能評価点」が高い提案を採択する。

イ 提案者それぞれの「機能評価点」、「価格評価点」が同じ場合はシステム保守点検費用の見積額が低い提案を採択する。

ウ ア又はイによっても委託候補者が決定しない場合は、別途日を定め、くじ引きにより提案を採択する。

2 評価について

(1) 機能評価点

機能評価点は、企画提案書に基づき以下の手順により算出する。

ア 大分類の設定およびその配点設定

次のとおり大分類を設定し、その配点設定を示す。

- | | |
|----------------|------|
| (ア) 本業務に関する理解度 | 20点 |
| (イ) 業務遂行能力 | 40点 |
| (ウ) システムの仕様 | 300点 |
| (エ) 信頼性 | 40点 |

イ 機能評価点の算出方法

(ア) 評価点の考え方

評価項目単位の採点は1～5点までの5段階で評価する。

- a 特に優れている場合は「5点」とする
- b 優れている場合は「4点」とする
- c 標準的な場合は「3点」とする
- d 劣っている場合は「2点」とする
- e 特に劣っている又は説明がない場合は「1点」とする

(イ) 加重評価点について

県が重要と考える評価項目に対しては、評価項目ごとの採点を加重する。

- a 特に重要な評価項目は評価点を「3倍」とする
- b 重要な評価項目は評価点を「2倍」とする

(ウ) 機能評価点の計算

(ア)、(イ)より算出した各審査員の各審査項目の加重評価点の総和を機能評価点とする。

(2) 価格評価点

価格評価点は、提案見積に基づき以下の手順により算出する。なお、システム開発費用の提案上限額は32,263,000円(税込み)とする。

ア 大分類の設定及びその配点設定

次のとおり大分類を設定し、その配点設定を示す。

- (ア) システム開発費用 20点
- (イ) システム保守点検費用 20点
- (ウ) 価格妥当性 60点

イ 価格評価点の算出方法

価格評価点の計算は以下により行う。なお、各評価点に小数点以下の端数が生じた場合は、小数点以下は切り捨てるものとする。

(ア) 評価点(システム開発費用)

評価点(システム開発費用)は下記の式により算出する。

20点 ×

(1 - 提案者のシステム開発費用総額 / システム開発費用の提案上限額)

(イ) 評価点(システム保守点検費用)

評価点(システム保守点検費用)は、提案者のシステム開発費用総額に対するシステム保守点検費用(年額)の割合に応じて算出する。

10%未満	20点
10%以上13%未満	15点
13%以上16%未満	10点
16%以上19%未満	5点
19%以上	0点

(ウ) 評価点(価格妥当性)

評価点(価格妥当性)の採点は、システム機能に対するシステム開発費用総額及びシステム保守点検費用(年額)を3～15点までの5段階で評価する。

- a 非常にコストパフォーマンスが良いと考えられる場合は「15点」とする
- b コストパフォーマンスが良いと考えられる場合は「12点」とする
- c 妥当と考えられる場合は「9点」とする
- d コストパフォーマンスが悪いと考えられる場合は「6点」とする
- e 非常にコストパフォーマンスが悪いと考えられる場合は「3点」とする

(エ) 価格評価点の計算

(ア)、(イ)より算出した評価点に、(ウ)より算出した各審査員の評価点の総和を加え価格評価点とする。